

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成21年9月8日

施設名	高知県立青少年体育館	所管課名	教育委員会生涯学習課
-----	------------	------	------------

1 施設の概要

指定管理者名	(財)高知県青年会館
指定期間	平成18年4月1日～21年3月31日 平成21年4月1日～24年3月31日
施設所在地	吾川郡いの町八田1767
業務内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の利用の許可に関する事 ・施設及び設備の維持管理に関する事 ・青少年の活動が安全かつ円滑に行われるための支援に関する事 ・主催事業を計画し、実施すること <p><平成20年度主催事業> 体力づくり教室 (スカッシュバレー)月・水曜日 (卓球)月曜日 (バレーボール)火・水曜日 (バドミントン)木・金・土曜日 小学生スポーツ教室 (卓球・新体操・バレーボール・バドミントン・バスケットボール) 青少年フェスティバル 初心者卓球教室 初心者バドミントン教室 第11回小学生ドッジボール秋季大会 小学生男子バレーボール教室</p>
施設内容	青少年の健全育成並びに県民の健康増進及び体育の振興を図り、併せて社会教育活動の用に供することを目的としている。 利用開始日:平成3年12月1日 建築物:鉄筋コンクリート一部2階 施設概要: 1階アリーナ 1,728㎡ バスケットボール2面 バレーボール3面 バドミントン10面 卓球15台 ハンドボール1面 テニス3面 トレーニング室 144㎡ 会議室72㎡×2室 更衣室・シャワー室 2階閲覧席 1500席
職員体制	館長1名(高知青少年の家所長兼務) 館長補佐1名(高知青少年の家事務長兼務) 事務員1名 指導員3名 計6名

2 収支の状況

単位:円

		19年度(決算)	20年度(決算)	21年度(予算)
収入	県支出金	36,769,101	36,456,676	37,002,000
	事業費収入	0	0	0
	使用料	4,507,810	3,900,660	4,638,000
	収入計 (a)	41,276,911	40,357,336	41,640,000
支出	事業費	452,000	447,960	430,000
	管理運営費	15,942,506	15,580,637	15,819,000
	人件費	18,588,197	18,657,297	18,990,000
	消費税	1,786,398	1,770,782	1,763,000
	支出計 (b)	36,769,101	36,456,676	37,002,000

3利用実績

(1)利用団体数

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平均
団体数	1,436	1,484	1,744	1,696	1,565	1,500	1,571

(2)利用者数

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平均
人数	66,471	67,707	68,165	64,565	63,745	70,970	66,937

4業務の評価

項目	状況説明
①利用拡大のための取り組み	<p>利用拡大のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学生スポーツ教室は、バドミントン、卓球、新体操、バレーボール、バスケットボールの5種目を開催し、延べ2,427人の小学生が参加した。この事業は平成4年から17年間継続して開催しており、高知市、土佐市、いの町からの参加があった。 ○県民の健康・体力の維持向上と生涯スポーツのきっかけづくりのため、平成17年度より初心者スポーツ教室を開催し、体育館の指導員が指導を行っている。参加者が自主的に作ったクラブが、昨年度に引き続き平日の昼間に利用している。 ○青少年フェスティバルにおいては、地域と話し合いの場を持ち、昨年度の反省を基に内容を決定した。
②利用者へのサービス向上のための改善策	<p>利用者へのサービス向上のために、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○利用者から希望のあった専用バーベル棒をトレーニング室に設置した。 ○当日の申し込みに柔軟に対応するなど、常に利用者の立場に立ってサービスに努めた。 ○昨年に引き続き、主催事業の初心者卓球・バドミントン教室の修了者が立ち上げた自主クラブの練習に、要請があれば職員が指導を行い、利用者のサービス向上に努めた。 <p>(昨年度の課題への対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「緊急時対応マニュアル」を作成し、職員に周知した。
③施設の運営について	<p>施設の運営について、以下の点で工夫が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○青少年センターの協力を得て、平成20年8月よりトレーニング室の利用については、マナーや器具の使い方などの講習を修了した方に限っている。その結果、利用者数は減少したが、マナーが良くなり安全性が保たれている。 ○昨年度も課題となっていた職員の資質・指導力向上のための研修への参加については、本年度もローテーションの関係で参加することができなかった。 平成21年度は、早めに研修の情報収集を行い、参加できるようにローテーションを組んでいく予定である。
④利用実績	<p>○平成19年度と比較して、利用団体数は65団体減少したが、利用者数は7,225人に増加した。利用者講習終了者のみの利用としたことから、トレーニング室の利用は減少したものの、平成19年度と比較して、バドミントンやバスケットボール大会が増えたことや高校総体(バドミントン)の開催等により、年間利用者数が大幅に増加した。</p>

⑤収支の状況	<p>○平成19年度と比較して、使用料収入は607千円の減収となった。これは、利用団体数が減少したことが大きな理由と考えられる。</p> <p>また、管理代行料については、当初予算額のほぼ全額の支出となった。</p> <p>平成20年度予算額 36,460,000円 残額 3,324円</p>
総合評価	<p style="text-align: center;">B</p> <p>概ね事業計画のとおりに管理運営されている。トレーニング室を利用者講習修了者のみの利用としたことで、マナーが向上し器具の故障が少なくなり、安全性が保たれることに繋がった。</p> <p>昨年度の課題であった、「緊急時対応マニュアル」は作成をした。しかし、電気料金の目標設定については、利用状況により電気料金の変動するため、具体的な数値設定が困難なことから目標設定は行っていないが、使用していない部分の消灯を行う等、経費節減に努めている。また、職員の資質・指導力向上のための研修への参加については、本年度もローテーションの関係で参加することができなかった。しかし、職員同士の声掛けや助け合いにより、利用者サービスの向上に努めている。</p> <p>今後、さらなる向上を目指して、以下のことに取り組んでもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者動向の把握・分析 ・高知青少年の家が隣接しているという特色を生かして、両施設を一体的に活用するための施設運営 ・計画的な職員研修

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの